

下野昇 テノールリサイタル

傘寿記念 日本の抒情^{こころ}を歌う

山田耕筰 團伊玖磨
橋本国彦 尾高惇忠

2016.3.13  開場 13:30
開演 14:00

全席自由: 5,000円(税込)

東京文化会館小ホール

JR上野駅公園口徒歩2分

- 後援・マネジメント 公益財団法人 東京二期会
- チケット販売・お問い合わせ
二期会チケットセンター ☎03(3796)1831
- チケット販売
東京文化会館チケットサービス ☎03(5685)0650

Piano

河原忠之
Tadayuki Kawahara

下野昇

テノールリサイタル

プログラム

●山田耕筰

この道

からたちの花

城ヶ島の雨

曼珠沙華

鐘が鳴ります

●橋本国彦

落葉

お菓子と娘

薊の花

お六娘

●團伊玖磨

「美濃びとに」

一、うた

二、秋
三、閑か
四、美濃びとに
五、雀踊り

片足

ひぐらし

紫陽花

●尾高惇忠

憩らい

初冬

小さな種子

雪夜

逸題

下野昇 テノール
Noboru Shimono

Tenor

Piano

河原忠之 ピアノ
Tadayuki Kawahara

1961年東京芸術大学声楽科卒業。1963年同専攻科修了。1966年「タンホイザー」のタイトルロールでデビュー。同年ウィーン国立音楽大学に留学。アントン・デルモータ、ハインリッヒ・シュミット各氏に師事。1967年ソフィア国際コンクールでブルガリア作曲家協会賞を受賞。
帰国後「カルメン」「トスカ」「ラ・ボエーム」「アイダ」「ワルキューレ」「フィデリオ」「リゴレット」「ニュールンベルクのマイスタージンガー」等、リリコ・スピントからドラマティックテノール及びヘルデンテノールを要求する主役を歌い、ブリテンの教会三部作オペラ「燃える炉」「放蕩息子」「カリーユリヴァー」やヤーナーチエクの「消えた男の日記」など現代オペラ等にも出演。
小沢征爾氏の日本オペラデビュー「ボリス・ゴドノフ」に出演以来、同氏の指揮で「カルメン」「サロメ」「ヴォツェック」「カルミナ・ブрана」「メシアンのアッシジの聖フランシス」等を共演。
1969年森正指揮のベートーヴェン第九交響曲のソリストに出演以来、各交響楽団と数多く共演。第九の他マラーの「大地の歌」「ヘンデルの「メサイヤ」」「ヴェルディの「レクイエム」シオスタコヴィッチの「森の歌」等々各交響楽団と共演、そして1979年にはクルト・マズア指揮のゲヴァントハウス交響楽団

とベートーヴェンの第九を共演。
1982年イスラエル・フェスティバルのオペラ「カリーユ・リヴァー」の上演で狂女役が完璧な歌と演技と評される。66年イノホールにおける第一回リサイタル開催以来、多岐にわたるジャンルでリサイタルを開催。プログラムはシューマンの「詩人の恋」「リーダークライス」ブリテンの「セレナーデ」「ミケランジェロの7つのソネット」日本歌曲等々。1973年には毎日新聞社主催の第78回毎日ソリストンに出演。
2012年5月東京文化会館小ホールの「ドイツ歌曲リサイタル」では「音楽の友」「音楽現代」で高い評価を受ける。
2001年サンクト・ペテルブルクの「日本音楽芸術祭」に招聘され日本歌曲を演奏。また2002年にはアゼルバイジャンのパークで、アゼルバイジャン日本交流芸術祭2002イン・パーク」に招聘され、日本歌曲を演奏。
1988年から1998年まで劇団四季「ミュージカルギヤツ」に出演。
1987年第15回シロー・オペラ賞を受賞。
1997年から00年までが国際音楽祭音楽監督。
現在、二期会会員、山梨大学名誉教授。

日本を代表する歌手や器楽奏者が、その共演者に挙って指名する人気ピアニスト。国内外の第一線で活躍中の「太門」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVUのメンバー。
国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。1991年にイタリアに渡り、故アルド・プロッティ氏のもとオペラ伴奏ピアニストを務め数々の演奏会に出演、またマリア・カルボネ女史のもとでは伝統的なイタリア・オペラの表現、発声法、テクニック等も取得。帰国後はサイトウキエンス・ステイバル等でコレペイトールとして活躍するなど年間ステージは100を超え、その幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。
指揮者としては、フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」、「いずみホール・オペラ」オルフェオとエウリディーチェ（第9回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞）、ブッチーニ「ラ・ボエーム」、モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」、ヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」「リゴレット」、いずみホール・オペラ、モーツァルト「フィガロの結婚」(2014年度大阪文化祭賞優秀賞受賞)などを指揮。2015年10月の紀尾井ホール「ベルゴレージ・オリンピア」の指揮は新聞各紙の評で絶賛される。11月にはいずみホールでモーツァルト「魔笛」の指揮が予定されている。
ひとりの作曲家の歌曲の広く豊かな音の世界を声で染め上げる「歌霊」シリーズは2015年3月で7回目を迎えた。

あくまで地酒でありながらどこにもありそうで、ない。ブドウとワインと人との向き合ってきたらその先にあるものが見えてきた。

免許付きで売りに出された共同醸造所を夫婦で譲り受けてから14回の仕込み期が過ぎました。
自社畑と顔の見える生産者のブドウだけをワインにし、信頼できる売り手の方だけにお分けしてきました。
いつの間にかたくさんの人にソレイユワインらしさを感じてもらえるようになっていました。
道は「直線」ではなく「つ」の方向に向かっていく。小石を拾いながら、この道を進んでいく。



音楽の余韻をソレイユワインで。

旭洋酒有限公司

山梨県山梨市小原東857-1
☎0553(2)2236

[HP] <http://www5.biglobe.ne.jp/soleilw/>
[E-mail] soleilwine@mug.biglobe.ne.jp